

岩手県



鵜住居の中学校

ボランティアセンターの近く



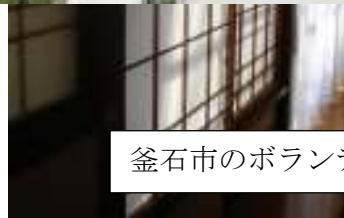
岩手県山田のカフェ



浄土が浜海岸



津波で流された鵜住居 J R の駅



釜石市のボランティアセンター



岩手県の太平洋沿岸はリアス式海岸のため、津波で被害に遭った地区が点在しています。盛岡を中心とした岩手ネットワークの支援地がある宮古、山田、大槌、釜石、大船渡地区を主に訪問させて頂きました。これらの地域はアクセスが限られるため、震災前から積極的に宣教が行われてきた地域ではありませんでした。この地域に来たボランティアの方が「この地域の方々は神を信じないんじゃないありません。信じないも何も、福音を聞いたことがないんです。この地域には福音を語り告げる教会が必要です。」とネットワークの牧師に語ったそうです。イエス様はこの地を憐れんでおられ、私達に宣教の機会を与えようとされていらっしゃると思いました。

山田地区では「いっぽいっぽ」と名付けられたカフェが、津波で何もなくなってしまっているところに建てられ、地元の人にコーヒーやお茶を一杯 100 円で提供し、店内には聖書やクリスチャン関係の本が置かれ、ワーシップソングが流れていました。お茶を飲みながら、会話を通して交流が生まれていきます。私が訪問させて頂いた時には震災のため、漁が出来なくなったという地元の方がお孫さんを連れていらしていました。地元の方と長期的に関わっていく体制が作られようとしています。

今後被災地支援は長期的で、かつきめ細かい支援が求められています。多くのストレスを抱え、孤独に生活をしている方々に寄り添い、イエス様が私達と共に歩んで下さっているように、「いっぽ、いっぽ」共に歩いていくことが必要とされています。イエス様だけが、愛、喜び、希望を与えることの出来るお方です。クリスチャンセンターやボランティアセンターで働いていらっしゃる方々にお話を伺う時はいつでも「収穫は多いが、働き手は少ない」(マタイ 9:37-38)のみことばが与えられました。この地にできるだけ多くの宣教師が与えられることを祈ります。

福音が伝えられてこなかった地域にイエス様が福音を伝える道を開いてくださったのです。私が福音を聞いて信じたように、福音が、この地方に住む方々に語られて、イエス様の愛が広がっていくことをお祈りください。

経済的サポートをして下さる方は JEMS 宛のチェックのメモ欄に「Minako Fujimoto Support」とご記入下さい。